

「金沢大学重点戦略経費政策課題対応型研究推進セミナー」を開催

2012年11月9日

11月9日（金）にがん進展制御研究所棟4階 会議室において米国マウントサイナイ医科大学 医学部 Sergio Lira教授を迎え、「A microbiota-dependent model of intestinal neoplasia」と題して、金沢大学重点戦略経費政策課題対応型研究推進セミナーを開催しました。

セミナーでは、大腸ポリープ発症過程での腸内細菌叢の役割に関する博士の最新の研究成果を中心にご講演を頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約20名が参加し、大変活発な質疑応答や意見交換が行われました。



政策課題対応セミナー

A microbiota-dependent model of intestinal neoplasia

講演者： Sergio Lira 教授

The Leona M. and Harry B. Helmsley Charitable Trust
Professor of Immunology
Co-Director, Immunology Institute, Mount Sinai
School of Medicine, New York, USA

日時：2012年11月9日 16:30～17:30

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4階会議室

Lira 教授は、ケモカインによるリンパ球の trafficking に関して多くの業績を挙げられ、大腸がん発症機構における炎症反応の役割について大変興味深い研究成果を発表されています (Gastroenterology (2012) 143, 730; J Clin Invest (2010) 120, 3969)。今回は、これらの研究成果を中心に最新の研究成果を紹介していただく予定です。

多くの方々のご来聴を歓迎いたします。

連絡先：向田(がん進展制御研究所・分子生体応答研究分野 内線 6735)